第２３回市民自治推進委員会　都市調和部会会議録

（敬称略）

|  |  |
| --- | --- |
| 開催日時 | 令和元年７月１１日（木）　１８：３０～２０：００ |
| 開催場所 | 登別市役所本庁　第２委員会室 |
| 出席者 | (部 会 長)山下　克彦　（副部会長）谷﨑　博美(部 会 員)荒川　昌伸、工藤　保秋、西尾　拓也(庁内委員)南　三明、佐藤　智(総 務 部)土門　和宏、薮中　順一(事 務 局)大越　智輝、今野　沙弥 |
| 欠席者 | (庁内委員）相馬　裕一 |
| 議題 | 本庁舎建替えについて |

● 会議の要点

・兼ねてより話題に出ており、今後の都市調和部会のテーマの１つとなる「本庁舎建替え」について、これまでの経緯及び今後の計画等を説明するため、総務部に参加してもらった。

（本庁舎の位置について）

・なぜ浸水地域に本庁舎を建てるのか。

⇒浸水地域に本庁舎を建てることに関しては、新庁舎の高さの確保や、防災設備を高層階に置くことによって、防災性を高めることが出来ると考えている。

・浸水地域に建てて、職員は市役所に駆け付けられるのか。

⇒勤務中であれば、その場から高台に逃げることとなるが、自宅にいて津波警

報が鳴った時は、職員もまず高台に避難し、実際の勤務は津波が引いた後とな

る。

　　登別は浸水地域が続いていて、幹線道路が全て浸水地域に入っているため、津波が来てしまっている段階ではなかなか来ることが出来ない。それは庁舎が高台にあっても同じで、庁舎が無事でもそこに辿りつくまでの道路が浸水していれば同じ条件となる。

そのため、建て方の工夫により防災性を高めることを考えている。

（コストについて）

・現位置に高層階の建物を建てるより、高台に低層階の建物を建てる方がコストはかからないと思う。

⇒陸上競技場よりも現位置に建てる方が高くなると理解はしているが、それだけではなく、計３０項目ほどの比較検討を行い、現位置の評価が高かった。利便性というところで大きな差がついた。

今後、基本計画を作っていく中でも地元の企業、建設協会、商工会議所等からも意見を伺いながら手法を考えていく。

（防災機能について）

・新庁舎を現位置に建てるのであれば、防災機能は別の場所に置いた方が良いと思っている。高速道路は津波の際に安全なエリアとなるため、ここを防災の拠点として生かしてほしい。

⇒高速道路へのアクセスは難しいと考える。また、インターチェンジを作るとなると多額の整備負担金が伴うことが予想される。

（今後について）

・９月末を目途に基本計画の中間案を完成させる予定。それを市議会、地区懇談会、市民自治推進委員会等で説明させていただき、意見をいただきたい。基本構想よりも具体化した案となるため、前よりも意見が多くなると考えている。その意見をフィードバックして最終案の取りまとめに入っていきたい。

・中間案はどの程度のことがわかるのか。

⇒適正な規模、建物の配置、機能等を示せれば良いと考えている。

それが決まると、概算の事業費が出てくるため、手法を検討する。

・中間案の意見聴取後の流れについては、１月末に最終案作成→最終案についてのパブリックコメントを実施→３月末に基本計画を完成という流れを予定している。

【次回開催について】

　８月２０日（火）１８時３０分～